

予防歯科セミナー

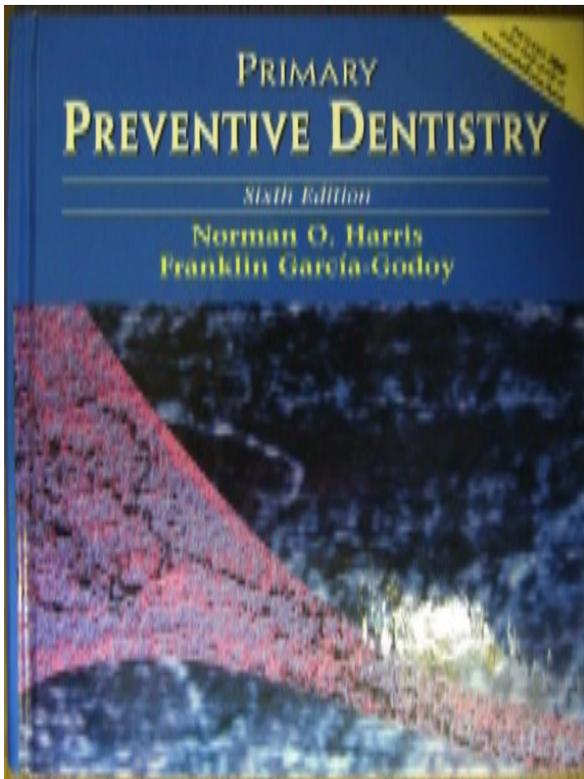
実施日時 : 毎週月曜日 18:00~19:00

場 所 : 予防歯科学分野 1研 (6階)

内 容 : 英文書「Primary Preventive Dentistry」の輪読と解説

現在参加者: 7名 (6年生 2名、5年生 2名、4年生 1名、

3年生 1名、研修医 1名)、教員2名(於保、長田)参加



予防歯科臨床に必要な
知識、技術の解説

英文に親しんでおく
よい機会

臨床家
として

研究者
として

国際的に活躍する
歯科医師を
目指して!

これまでに読んだ内容

1. “Toothbrushes and Toothbrushing Methods”

歯ブラシの歴史、刷掃部の微細構造、研究室及び臨床現場での刷掃効果の比較

2. “Preventive Oral-Health in Early Childhood”

小児期の専門的口腔疾患予防処置、推奨される食餌、同居家族の口腔管理の重要性、医療面接で話すべき6つのポイント、リコール間隔を決定する要因、成長に応じた診査・予防のポイント

3. “Oral Biologic Defenses in Tooth Demineralization and Remineralization”

エナメル質脱灰および再石灰化時に働く防御機構、唾液・プラーク・エナメル質の関わり合い、脱灰・再石灰化時のエナメル質結晶構造の変化

4. “Primary Preventive Dentistry in a Hospital Setting”

入院患者の予防的口腔管理（口腔乾燥、頭頸部悪性腫瘍、放射線骨壊死、口唇口蓋裂、心疾患、糖尿病、腎疾患）

5. “Understanding Human Motivation for Behavior Change”

動機づけとは？ なぜ動機づけが可能か、動機づけの2つの手法、教育目標の6つの段階、患者-専門家間の4つのコミュニケーションスタイル、行動変容を起こすヘルスプロモーションアプローチ法

6. “Dental Public-Health Programs”

公衆歯科衛生活動の歴史と現在の問題点。公衆歯科衛生活動の進め方（個人歯科衛生と対比しての6つのステップ）。Health promotionとHealth education。調査に必要な指数。

7. “Periodontal Disease Prevention: Facts, Risk Assessment, and Evaluation” (2013年6月現在、進行中)

歯肉炎と歯周炎。非侵襲的および侵襲的治療ガイドライン。デンタルプラークの定量。プロービングで分かること。リスク評価。歯肉溝浸出液の評価。喫煙の影響。

読む内容は受講生の希望で決定します。

各章の始めに到達目標が記載してあります。
また章末にはSelf-evaluation questionがあり、
知識の確認に役立ちます。